

宇津木台 森遊会 実施報告

「第5回定例活動」

No.2017-05

実施日	2017年8月27日(日) 10:00~13:00	天候: 晴れ	記録: 金森
場所	宇津木台緑地 (八王子市久保山町2-1)		
参加者	参加者: 4名(男性3、女性1) 吉川、矢島、神宮、錦織 インストラクター: 金森		

実施内容

活動7年目の第五回目。8月の活動は雨天や猛暑で中止にすることが多いが、今年はこの見越して緑地内の散策と多摩川の野鳥観察を計画した。中学生のメンバーは宿題の追い込みで忙しいらしい、緑地の散策は理科の自由研究になればいいのだが。

緑地への門から入るとすぐ目の前に見慣れない緑色の実のようなものがたくさんある、虫こぶのようだが割っても空洞、後で調べたところ、ヌルデミミフシと判明した。立派な虫こぶである。ヌルデがあること自体気が付かなかった。

さらに、コナラの実が無数に落ちている、ハイイロチョッキリの仕業で、切り落とす理由や産卵のメカニズムを説明する。過去に詳しく書かれた書籍を紹介したことがある。

巣箱は幾つかが入口を大きく削られている、大型の野鳥によるものと思われる。

色とりどりの夏のキノコが面白い。東側の緑地にはクロコスミアが群生している。

八高線の線路脇に到達、ここも緑地の一部だが細々したゴミが目立ち拾いきれるものではない。

緑地の小川を観察、竹林経由で多摩川へ、水鳥を観察、平町の大イチョウ、桐の大木、西玉神社でお参りと休憩、集合場所へ戻る。気が付けば3時間が経過していた。

次回、9月は間伐、除伐と秋の味覚を約束して解散した。



ヌルデミミフシの虫こぶ



ハイイロチョッキリに切り落とされたコナラ 何ものかが巣箱に大穴



足元のキノコを探す



正体不明の白い物体



クロコスミア



八高線の脇まで来た



拝島方面を望む



小川の水量は安定



多摩川の堰堤 野鳥は少なく



平町の大イチョウ



西玉神社で一休み

連絡事項 ・怪我、ヒヤリハットなし。 ・ボランティア袋小1個を指定の場所に置く。